

力をのばす問題



解答 → 別冊 p.24

1 日本文の意味を表すように、____に適切な1語を入れなさい。

(1) あなたはコンピューターがとても役に立つということを知っていますか。

Do you _____ computers _____ very useful?

(2) 彼はリンダが台所で料理をしていると言った。

He _____ Linda _____ cooking in the kitchen.

(3) 私はそのタクシー運転手は親切だと思いました。

I _____ the taxi driver _____ kind.

2 次の文を日本語になおしなさい。

(1) Do you know that soccer was first played in England?

(_____)

(2) I know that Namie sings very well.

(_____)

(3) I hear that you are popular with your teammates.

(_____)

(4) Did you notice that woman was Ellen?

(_____)

3 日本文の意味を表すように、()内の語を並べかえなさい。

(1) あすはとても寒くなると思います。

(it, think, cold, be, will, I, very, tomorrow).

(2) あなたは彼がパイロットだったということを知っていますか。

(that, was, pilot, know, do, a, he, you)?

(3) 私はあなたが試験に合格してうれしい。

(have, examination, the, you, I, passed, glad, am).

HELP

1 (2/3)は、**時制の一致**に注意する。(3)は接続詞の that が省略されている。



2 (3) I hear that ~ 「(うわさでは) ~だそうだ」 (4) notice 「~に気づく」, woman の前の that は接続詞の that ではなくて、「あの」の意味を表す that。Ellen 「エレン(女性の名)」

3 (3) 「S' が V' してうれしい」 **be glad(that) S' + V' ~ (be 動詞 + 形容詞(+ that) ~の形)**

23 文構造の基本 (2)

問題にチャレンジ

- 1 (call, 'koi', we, the fish) in Japan.
日本ではその魚を「コイ」と呼びます。
- 2 This song _____ me happy.
この歌を聞くと楽しくなる。
- 3 My uncle **gave** me an old guitar.
おじは私に古いギターをくれた。
- 4 They **called** the land India.
彼らはこの土地をインドと呼んだ。

問 ()内の語(句)を並べかえて正しい英文にせよ。 → 1

問 _____に適切な1語を入れよ。 → 2

問 この文のタイプは? → 3

問 受け身の文になおせ。 → 4



1 「S + V + O + C」

英文の5つのタイプの中で最後に学ぶのが、この「S + V + O + C」だ。

Mike **calls** the dog Chibi. (マイクはその犬をチビと呼んでいる)
S V O C

「S + V + O + C」で特に注目すべき点は、O = Cの関係が成り立っているということだ。この文では、the dog = Chibiである。

They **named** their baby Ken. (彼らは赤ちゃんを健と名づけた)
S V O C

この文では、their babyはKenだから、O = Cの関係が成り立っていることがわかる。

1の答 → We call the fish 'koi' in Japan. → “その魚を「コイ」と呼ぶ”のだから、the fishがO、'koi'がCだ。weは一般の人々(この文では日本人全体)を指すので訳さないほうがよい。

2 「S + V + O + C」で使われる make

makeはいろいろな意味を持つ動詞だが、「make + O + C」の形で使われて、「～を…(の状態)にする」という意味を表すことがある。

問題2は直訳すると、「この歌は私を楽しい状態にする」であり、これを自然な日本語になおすと、「私はこの歌を聞くと楽しくなる」という意味になる。この文でもme = happyだから、O = Cの関係が成り立つ。



ここに注意

「S + V + O + C」で、O = Cの関係が成り立つからといってOとCの順を逆にしてはいけない。

Mike calls the dog Chibi.

上の文はMike calls the dog(マイクは犬を呼んでいる)にChibi(チビと)がくっついたものだ。OとCを逆にすれば「マイクはチビを犬と呼んでいる」となり、わけのわからない文になってしまう。

The news **made us** very sad.
 (そのニュースは私たちがたいへん悲しくさせた)
 → そのニュースを聞いて私たちはとても悲しくなった。

ポイント

● いろいろな **S + V + O + C**
call + O + C (O を C と呼ぶ)
name + O + C (O を C と名づける) } 「O = C」の関係
make + O + C (O を C の状態にする)

2の答 → makes → 3 単現の s をつけるのを忘れない!!

3 「S + V + O + C」と「S + V + O + O」

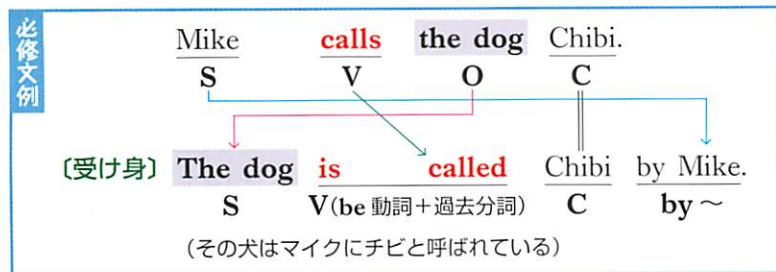
「S + V + O + C」と「S + V + O + O」の文は、どちらも S + V のあとに文の要素が2つある。しかし、似ているのはそこまでで、訳し方や使われている動詞がちがうので、まとめておこう。

文のタイプ	動詞の例	訳し方
S + V + O + C	call (呼ぶ) name (名づける) make (～にする)	「O を C と…」 (O = C である)
S + V + O + O	show (見せる) give (与える) teach (教える) ask (たずねる)	「O に O を…」 (O = O ではない)

3の答 → SVOO → 動詞が gave(give の過去形)であり、me と an old computer を = (イコール) で結ぶこともできない。

4 「S + V + O + C」の文を受け身にする

「S + V + O + C」の文を受け身の文に書きかえるときは、ふつうの文を受け身の文にする時の手順(⇒ p.98)にしたがって、O(目的語)を主語にする。C(補語)はそのまま V(動詞)のすぐあとに残す。



4の答 → The land was called India (by them). (この土地は[彼らによって]インドと呼ばれた)

もっとくわしく

「S + V + O + C」の文に使われている C(補語)を目的格補語と言う。これは、O = C の関係からわかるように、この補語は O(目的語)の意味や性質を補うので、目的格の補語、つまり目的格補語と呼ぶ。また、「S + V + C」の C(補語)は主語の意味や性質を補い説明するので主格補語と言う。

- S + V + O + C
(O = C, C は目的格補語)
- S + V + C
(S = C, C は主格補語)

SVOC と SVOO の見分け方

(1) Tom made him a good tennis player.
 (2) Tom made him a good tennis racket.
 (1)(2)は一見同じタイプのように見えるが、(1)は
 Tom made him
 S V O
 a good tennis player.

(トムは彼をすばらしいテニス選手にした)
 him と a good tennis player の関係はイコールなので a good tennis player は C で、SVOC の文だ。

Tom made him
 S V O
 a good tennis racket.

(トムは彼にすばらしいテニスラケットをつかった)
 him と a good tennis racket はイコールで結ぶないので、a good tennis racket は O になる。

ここに注意

C(補語)は受け身の文の主語にできないので気をつけよう。だから「S + V + C」の文は、受け身にはできない。

基礎を固める問題



解答 → 別冊 p.24

① 日本文の意味を表すように、____に適切な1語を入れなさい。

- (1) 私たちは彼女をミキと呼んでいる。
We _____ Miki.
- (2) 彼らは赤ちゃんを正男と名づけた。
They named their _____.
- (3) グリーンさんは私たちに英語を教えました。
Ms. Green taught _____.
- (4) 彼はその犬を何と名づけましたか。
What did he _____?

② 例にならって「S + V + O + C」の文を書きなさい。

- 例 He is Mike. [I call]
→ I call him Mike.
- (1) The dish is *champloo*. [They call]

- (2) The month is July. [He named]

- (3) I am happy. [Her smile makes]

- (4) She was angry. [The news made]

③ 次の文を日本語になおしなさい。

- (1) I call her Kate.
(_____)
- (2) They named the ship "Fuji."
(_____)
- (3) He showed me a beautiful dress.
(_____)
- (4) What do you call the dog?
(_____)

HELP

- ① 文の動詞が **call** (呼ぶ) か、**name** (名づける) なら「S + V + O + C」の文だ。
(3)「S + V + O + O」(～に～を…する)の文。
(4)「S + V + O + C」の疑問文。CはWhatなので文のはじめにある。

- ② 問題文のbe動詞をとって[]内の主語と動詞のあとにつければ「S + V + O + C」の文ができる。
(1) *champloo* は「チャンプルー」という沖縄の料理の名前。
(2) July「7月」はシーザーが名づけた月の名前。

単語

dish 料理
angry 怒って

- ③ (1)(2)「S + V + O + C」の文で、Vがcall [name]のときは「OをCと呼ぶ[名づける]」と訳するのが基本。
(3) dress「ドレス、服」
(4)「S + V + O + C」の疑問文。CがWhatになるので、文のはじめに置かれる。

力をのばす問題



解答 → 別冊 p.24

1 次の文を、下線部に注意して日本語になおしなさい。

- (1) Kumi calls a taxi.
()
- (2) Kumi calls her friends every evening.
()
- (3) Kumi calls her dog Pochi.
()

2 次の文を受け身の文に書きかえなさい。

- (1) They named the kangaroo Spot.

- (2) My friend gave me some books. (2通りの受け身の文に)

- (3) Everyone calls the city the Big Apple.

3 日本文の意味を表すように、()内の語(句)を並べかえなさい。

- (1) パスポートを見せてください。
(me, your, show, passport), please.
_____, please.
- (2) その桜の花は村を有名にしました。
(the village, made, the cherry blossoms, famous).

- (3) この色は英語で何と言いますか。
(English, color, call, this, you, do, what, in)?

HELP



1 (1)の call は「呼ぶ」、(2)の call は「電話をかける」の意味。

2 動詞が call か name なら「S + V + O + C」の文。(1) kangaroo [kæŋgəru: キャンガル-]「カンガル-」(2)2つの目的語をそれぞれ主語にする。

3 (1)2つの目的語は「〜に」+「〜を」の順に並べる。命令文であることに注意する。

(2)「桜の花」cherry blossoms(通例 ~s の形で使う) (3)「S + V + O + C」の疑問文。

24 疑問詞 + to ~ ; tell + [人] + to ~

問題にチャレンジ

1 I didn't know _____ make.
私は何をつくればいいのかわからなかった。

2 Do you know _____ go?
あなたはどこへ行けばいいか知っていますか。

3 My mother **told** me _____ clean
the room.
母は私にその部屋をそうじするように言った。

4 Mary wanted **to live** in Okinawa.
メアリーは沖縄に住みたかった。

問 _____ に適当な 1 語を入れよ。

→ ①

問 _____ に適当な 1 語を入れよ。

→ ①

問 _____ に適当な 1 語を入れよ。

→ ②

問 wanted のあとに him を入れて
日本語になおせ。

→ ②



1 「疑問詞 + 不定詞」(what to ~ など)

不定詞 (to + 動詞の原形) の前に疑問詞 what をつけると what to ~ 「何を~したらいいのか」という表現になる。

what to read 何を読めばいいのか

what to ~ は、what がついていても文の最初に置く必要はない、たいていは文の O (目的語) や、直接目的語として使われる。

必修文例

I don't know **what to read**.

S V O

(私は何を読めばいいのかわからない)

Please **tell me what to do**.

V O O

(私に何をすればいいのか教えてください)



don't know は
「わからない」と
訳すのがコツだ。

what to ~ と同じような「疑問詞 + 不定詞」の表現には when to ~, where to ~, how to ~ などがある。

ポイント

「動詞の原形」
疑問詞 + to ~ = 疑問詞の意味 + 「~したら[すれば]いいのか」

what to ~ = 何を~したらいいのか

when to ~ = いつ~したらいいのか

where to ~ = どこへ[に/で]~したらいいのか

how to ~ = どのようにして~すればいいのか

もっとくわしく

what to ~ などの「疑問詞 + 不定詞」は、文の O (目的語) や、直接目的語になる。名詞的用法の不定詞 (名詞句) も O になるが (⇒ p.113), それと同じように「疑問詞 + 不定詞」は名詞句で、名詞の働きをしているから O になるのだ。

得点アップのコツ

「疑問詞 + 不定詞」の表現は、I don't know ~ とか Do you know ~ とかの「S + V + O」の O に使われることが多い。文の動詞 know, learn などと結びつけて使い方や訳し方になれておこう。

I don't learn **how to use it**.

(私は **その使い方** を習っていない)

He told her **when to start**.

(彼は **いつ出発したらいいのか** を彼女に言った)

1の答 → what, to

2の答 → where, to

2 「S + V + O + 不定詞」[tell など + (人) + to ~]

まず次の文を見てもらおう。

I **told her** **to come** here.

S V O(人) 不定詞

(私は彼女に言った)(ここに来るようにと)

→ (私は彼女にここに来るようにと言った)

この文は、「S + V + O」に「不定詞」がくっついたものと考えることができる。この「S + V + O + 不定詞」の文では、Vにはtell, ask, wantなどの動詞がよく使われる(上の文はtellの過去形told)。また、Oには「人」を表す名詞・代名詞(上の文は代名詞her)が使われるのがふつうだ。だから、この文の形は、次のように表すことができる。

[tell[ask, want など] + (人) + to ~]

この形の文では、tellは「言う[命ずる]」と命令の意味を、askは「頼む」と依頼の意味を、wantは「~してほしい」という意味を表す。つまり、[人]にto ~ (不定詞)の表す動作をするように命じたり、頼んだり、望んだりする表現だ。



tell	} + (人) + to ~ → (人)に	~するように言う
ask		~してくれるように頼む
want		~してほしい

She **told me to wash** the dishes.

(彼女は私にお皿を洗うように言った)

I often **told him to work** harder.

(私は彼にもっと熱心に働くようによく言った)

He **asked Bob to help** him.

(彼はボブに自分を手伝ってくれるように頼んだ)

I **want you to go** there.

(私はあなたにそこへ行ってほしい)

3の答 → to → 「そうじするように」だからto cleanと不定詞にする。

4の答 → メアリーは彼に沖縄に住んでほしかった。→ wantedのあとにhimを入れるとMary wanted **him** to live in Okinawa.となる。

もっとくわしく

次の2つの文を比べよう。

① I want to go.

S V O

(私は行きたい)

② I want you to go.

S V O

(私は君に行ってほしい)

to go という不定詞は、どちらの文でも「行く」という動作を表しているが、その動作をする人は、①と②の文ではちがう。①の文では、主語のIが「行く」という動作をする人だが、②の文で「行く」という動作をする人は目的語のyouだ。つまり、②の文ではyou to goは「君が行く」という意味で、youは不定詞to goの主語のような役目をしている。そこで、youはto goの意味上の主語と言える。このように「S + V + O + 不定詞」の文では、Oは不定詞の意味上の主語になっているから、②の文を「(私は)君が行ってほしい」と訳してもよい。

得点アップのコツ

I want you to ~.

(あなたに~してほしい)

この言い方はよく使われるので、確実に覚えておこう。また、これよりていねいな言い方もある(⇒ p.83)。

I would like you to help me.

(できれば)あなたに助けていただきたいのです)

基礎を固める問題



解答 → 別冊 p.25

HELP

① 「疑問詞 + to ~」の表現。

① 日本語の意味を表すように、____に適切な1語を入れなさい。

- (1) 何をしたらいいか _____ do
 (2) どこへ行けばいいか _____ go
 (3) いつ出発すればいいか _____ start
 (4) 泳ぎ方 _____ swim
 (5) 何を見たらよいか _____ see

② 次の文を下線部に注意して、日本語になおしなさい。

- (1) I want you to sing a song.
 (_____)
 (2) Mr. Brown didn't know how to write a *haiku*.
 (_____)
 (3) He asked me to teach English.
 (_____)
 (4) Do you know when to go there?
 (_____)
 (5) Mother told me to wash the dishes.
 (_____)

③ 日本文の意味を表すように、____に適切な1語を入れなさい。

- (1) 私はこの習慣を守りたい。
 I _____ keep this habit.
 (2) 私はあなたにこの習慣を守ってほしい。
 I _____ you _____ keep this habit.
 (3) 彼女は何を読めばいいかわからなかった。
 She didn't know _____ read.
 (4) 彼は私に宿題をするように言った。
 He _____ me _____ do my homework.
 (5) あすどこへ行けばいいか教えてください。
 Please tell me _____ go tomorrow.
 (6) 久美は彼にCDを貸してくれるように頼んだ。
 Kumi _____ him _____ lend her his CD.

②

ask + [人] + to ~
 = 「[人]に~してくれるように頼む」
 → 依頼
tell + [人] + to ~
 = 「[人]に~するように言う」 → 命令

- ③ (1)の文で習慣を守るのは「私」、(2)の文では「あなた」。
 (4)「[人]に~するように言う」
 (6)「[人]に~してくれるように頼む」

単語

habit [hábit ハビト]
 習慣
lend
 貸す

力をのばす問題



解答 → 別冊 p.25

1 日本文の意味を表すように、____に適切な1語を入れなさい。

(1) 彼は私にテレビを見るのをやめるように言った。

He _____ stop watching TV.

(2) あなたはいつ出発すればいいか知っていますか。

Do you _____ start?

(3) 私はあなたに映画にいっしょに行ってほしい。

I _____ go to the movies with me.

(4) あなたは彼女にフルートを演奏してくれるように頼みましたか。

Did you _____ play the flute?

2 次の文を日本語になおしなさい。

(1) She told him to be kind to his friends.

(_____)

(2) Meg asked her mother to wake her up at six.

(_____)

(3) He wants to learn how to write his name in *hiragana*.

(_____)

(4) Please tell me which train to take.

(_____)

3 次の文を英語になおしなさい。

(1) 彼女は私にその本を読むように言った。

(2) 彼は何をすればいいかわからなかった。

(3) 私は彼女に私を待ってくれるように頼んだ。

(4) このカメラの使い方を私に教えてください。

HELP ① (1)(3)(4)は「S + V + O(人) + 不定詞」の文。Vには tell, ask, want のどれかを使う。



② (3) in *hiragana* 「ひらがなで」 (4) **which train to take** 「どの電車に乗るべきか」

③ (2) 「わからなかった→知らなかった」 (3) 「～を待つ」 wait for ~ (4) 「教える」 tell

25 It is ~ to ... ; too ~ to ...

問題にチャレンジ

1 To write a letter in Chinese is difficult.

中国語で手紙を書くことはむずかしい。

2 It is fun _____ me to go skiing.

私はスキーに行くことが楽しみです。

3 This story is _____ long _____ read in one day.

この物語はとても長いので、1日で読むことはできない。

4 Ken was too young to drive a car.

健は若すぎたので、車の運転ができなかった。

問 It で始まる文に書きかえよ。

→ 1

問 _____ に適当な 1 語を入れよ。

→ 1

問 _____ に適当な 1 語を入れよ。

→ 2

問 that を使った文に書きかえよ。

→ 2



1 It is ~ to ...

文の主語には、I, She, Mike, It などの名詞・代名詞を使うことが多い。しかし、ほかにも、「~すること」と訳す不定詞も、名詞と同じ働きをするので、文の主語になる(⇒ p.83)。

To read this book is easy.

S V C

(この本を読むことは やさしい)

でも、主語が長いと、文が「頭でっかち」になり、読みにくい。そこで、文の主語が不定詞の場合は、その長い主語のかわりに、とりあえず **It** を文の主語にしてしまう。そして、もとの長い主語(不定詞)は、文の後ろにつける。

必修文例

① To read English books is interesting.

S V C

↓

② **It** is interesting to read English books.

形式主語

真主語

①も②も「英語の本を読むことはおもしろい」という意味。

②の文の **It** を形式主語(仮主語)、不定詞 to read English books を真主語と言う。真主語はもとの①の文の主語で「英語の本を読むこと」と訳すが、形式主語の **It** は「それ」と訳す必要はまったくない。

ここに注意

不定詞だけではなく、動名詞も文の主語になることができる。

Reading this book
S

is easy.
V C



Q&A

Q 不定詞や動名詞が主語になるとき、動詞 be は is でいいのですか。

A 現在形なら is, 過去形なら was でいいのです。主語になる不定詞や動名詞は、3人称単数として扱います。

この It is ~ to ... の文の to ... (不定詞)の前に、「for ___」が入ることがある。

It is interesting **for me to read** English books.

(私には英語の本を読むことはおもしろい)

この「for ___」は、for me(私には)のように、「—には」と訳してもよいが、「私が英語の本を読むことは」のように「—が」と訳してもよい。また、「—にとって」と訳したほうがいい場合もある。



It is ~ to ... → 「...することは~だ」

形式主語 真主語(不定詞)

It is ~ for ___ to ... → 「—には...することは~だ」

形式主語 真主語(不定詞)

①の答 → It is difficult to write a letter in Chinese. → To write a letter in Chinese をあとにまわす。

②の答 → for → 「私は(私にとっては)」を for me で表す。

2 too ~ to ...

下の「必修文例」①~③を使って説明しよう。

too ~ to ... は「とても~なので...できない」と訳す。不定詞を使った重要表現だ(①)。

また、so ~ that ___ cannot [can't] ... も「とても~なので...できない」と、too ~ to ... と同じ意味を表す。①の文を so ~ that ___ can't ... に書きかえると②の文ようになる。意味は同じだ。

③の文は、時制の一致(⇒ p.115)によって、so ~ that ___ couldn't ... と、can't が過去形 couldn't になっている。

必修文例

① I am **too** tired **to** walk.

② I am **so** tired **that** I **can't** walk.

(私はとても疲れているので歩けない)

③ I **was** **so** tired **that** I **couldn't** walk.

過去 ← 時制の一致 → 過去

(私はとても疲れていたので歩けなかった)



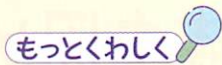
too ~ to ...

so ~ that ___ can't ...

「とても~なので...できない」

③の答 → too, to

④の答 → Ken was so young that he couldn't drive a car.
→ so ~ that ___ can't ... の文にする。



It is ~ for ___ to ... の文の for のあとの ___ の部分は、文法的に言うと、後ろの不定詞(to ...)の意味上の主語を表す。

また、It is ~ for ___ to ... の for のかわりに of を使うことがある。It is のあとの形容詞が人の性質や態度を表す場合である。

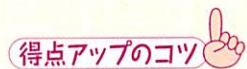
It was kind of you to help me.

(手伝ってくれてありがとう)
of を使う形容詞にはほかにもこのようなものがある。

nice (親切な)

foolish (ばかな)

careless (不注意な)



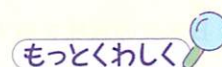
too ~ to ... には、いろいろな訳し方がある。I am too busy to read a book. は、

①「とても忙しいので、本を読むことができない」

②「あまりにも忙しすぎて本を読むことができない」

③「本を読むにはあまりにも忙しすぎる」

の3通りに訳すことができる。



too ~ to ... と似た形に、~ enough to ... (とても~なので...できる) という形がある。too ~ to ... は「...できない」という意味だが、~ enough to ... は「...できる」の意味だ。

He's clever enough to answer it.

(彼はとても利口なのでそれに答えることができる)

基礎を固める問題



解答 → 別冊 p.25

① 次の文を、例にならって **It** で始まる文に書きかえなさい。

例 To cook eggs is easy.

→ It is easy to cook eggs.

(1) To use a dictionary is a good thing.

→ _____

(2) To write it in English is difficult.

→ _____

(3) To take pictures well is not easy.

→ _____

(4) To read books about aliens is very interesting.

→ _____

② 次の文を日本語になおしなさい。また、同じ意味の英文になるように、____に適切な1語を入れなさい。

(1) He is so tired that he can't walk.

(_____)

= He is _____ tired _____ walk.

(2) We are too hungry to study.

(_____)

= We are so hungry _____ we _____ study.

(3) Ellen was too busy to come here.

(_____)

= Ellen was _____ busy that she _____ come here.

③ 日本文の意味を表すように、()内の語(句)を並べかえなさい。

(1) テレビでドラマを見ることは楽しい。

(dramas, is, to, it, fun, watch) on TV.

_____ on TV.

(2) 手話を使うことは彼女にはやさしい。

(to, it, for, easy, use, her, sign language, is).

(3) 彼は年をとりすぎて働くことができませんでした。

(was, to, he, work, old, too).

HELP

① 不定詞が主語の文を It is ~ to ... の文に書きかえる。

To ... is ~.



It is ~ to ...

(3) 否定文になることに注意。

単語

alien

[éilíən エイリアン]

宇宙人

② (1) so ~ that _ can't ... を, too ~ to ... に書きかえる問題。

(2)(3) too ~ to ... を, so ~ that _ can't ... に書きかえる問題。too ~ to ... が過去の文なら so ~ that _ couldn't ... になるので注意しよう。

③ (1)(2)は it で文をはじめる。

(2)「彼女には」の部分は for her で表す。

(3) too ~ to ... の文。

単語

drama [drá:mə]

ドゥラマ] ドラマ

sign language

手話

力をのばす問題



解答 → 別冊 p.25

1 日本文の意味を表すように、____に適切な1語を入れなさい。

(1) そんなことをするなんて、あなたはばかだ。

It is foolish _____ you _____ do such a thing.

(2) テニスを上手にすることは簡単ではない。

_____ tennis well is not easy.

(3) 何時間もコンピューターを使うことは目によくない。

_____ computers for many hours _____ not good for our eyes.

(4) この問題はむずかしすぎて答えることができない。

This question is _____ difficult _____ answer.

(5) とても寒かったので、私たちは海で泳ぐことができなかった。

It was _____ cold that we _____ swim in the sea.

2 各組の英文が同じ意味を表すように、____に適切な1語を入れなさい。

(1) { To sleep well at night is important.

{ _____ is important _____ sleep well at night.

(2) { She is too happy to sit down.

{ She is so happy _____ she _____ sit down.

(3) { It is not an easy thing to live in a foreign country.

{ _____ in a foreign country is not an easy thing.

(4) { He was so busy that he couldn't go on a trip.

{ He was _____ busy _____ go on a trip.

3 次の文を、()内の表現を使って英文になおしなさい。

(1) 彼らは忙しすぎて昼食を食べることができませんでした。(too ~ to ...)

(2) 自転車に乗ることはやさしい。(It is ~ to ...)

(3) 彼はとても遅く来たので、彼女に会うことができませんでした。(so ~ that __ can't ...)

HELP

1 (4)「むずかしすぎて」は「とてもむずかしいので」と同じ意味。

2 It is ~ to too ~ to so ~ that __ can't ... のどれがあてはまるか考える。



3 (2)「自転車に乗る」ride a bike (3)「遅く来る」come late

定期テスト予想問題7

時間 20分
解答 → 別冊 p.26

得点	/ 100
----	-------

1 次の文の()内から正しい語(句)を選びなさい。

〈15点 = 3点 × 5〉

- (1) We (call, say, tell) him Mike.
- (2) The milk is (too, so, very) hot to drink.
- (3) He (called, said, told) her to share the housework.
- (4) They don't know (who, what, when) to do next.
- (5) She is (too, so, very) tired that she (can, can't, couldn't) walk.

2 次の文を日本語になおしなさい。

〈15点 = 5点 × 3〉

- (1) I am too busy to find time for reading.
()
- (2) Her friend told her which way to go.
()
- (3) My parents often tell me to study hard.
()

3 日本文の意味を表すように、 _____ に適当な1語を入れなさい。

〈20点 = 4点 × 5〉

- (1) あなたはいつ出発すればいいか知っていますか。
Do you know _____ to start?
- (2) 私たちはその犬をクロと名づけました。
We named the _____.
- (3) 私は彼らに中国語を習ってほしい。
I _____ them _____ learn Chinese.
- (4) 私は彼女が客室乗務員だということを知りませんでした。
I didn't know _____ she _____ a flight attendant.
- (5) 彼はとても疲れているので立ち上がることができません。
He is _____ tired that he _____ stand up.

4 日本文の意味を表すように、()内の語を並べかえなさい。

〈12点 = 4点 × 3〉

- (1) その知らせは彼女を悲しませた。
(sad, the, made, her, news).

- (2) 彼がすぐ来ればいいと思う。
(will, soon, hope, he, I, come).

- (3) 若い人たちが彼に対して親切にするのは必要なことです。
It (kind, people, for, is, be, necessary, young, to) to him.

It _____ to him.

5 次の文を、()内の指示にしたがって書きかえなさい。

〈20点 = 4点 × 5〉

- (1) I think that you can do it. (think を過去形にして)

- (2) To take pictures is very easy. (It で始まる文に)

- (3) She calls the cat Tama. (受け身の文に)

- (4) She was so sleepy that she couldn't drive a car. (不定詞を使って同じ内容の文に)

- (5) He said to me, "Close the door." (" " を使わずに同じ内容の文に)

6 ()内の語句を参考にして、次の文を英語になおしなさい。

〈6点〉

沖縄では、にがうりはとてもポピュラーです。私たちは、それを沖縄の言葉で「ゴーヤ」と呼んでいます。(Nigauri, Goya, Okinawa language)

7 〈リスニング問題〉 33 英文を聞いて、その内容についての(1)~(3)の質問に対する最も適切な答えを、ア~エの中から1つずつ選びなさい。

〈12点 = 4点 × 3〉

- (1) ア He was 5 years old.
イ He was 12 years old.
ウ He was 14 years old.
エ He was 36 years old.
- (2) ア His teacher did.
イ His host family did.
ウ His host father did.
エ His friends did.
- (3) ア He wants them to talk about something they like in English.
イ He wants them to have many friends at school.
ウ He wants them to go to New York to have a good experience.
エ He wants them to enjoy playing basketball.

わかるゼミ8

名詞を修飾する語句と節

名詞を修飾する語句

名詞にくっついて、名詞を修飾する語と言えば、まず形容詞だ。でも、名詞にくっつくのは形容詞だけではない。

- ① 形容詞 a **big** dog (大きい 犬)
- ② 「前置詞+名詞[代名詞]」
a letter **for you** (あなたへの 手紙)
- ③ 形容詞的用法の不定詞
a picture **to give him** (彼にあげる 写真)

②の for you, ③の to give him は、それぞれ名詞 letter, picture にくっついて、その名詞を修飾している。2語以上が集まって形容詞と同じような働きをしているので**形容詞句**と言うが、①の形容詞 big とちがいで、名詞の後ろにくっついて、**後ろから名詞を修飾している**(後置修飾と言う)ことに注意しよう。

日本語は、① 大きい犬、② あなたへの手紙、③ 彼にあげる写真のように、名詞を修飾する語句が、名詞の前に置かれている(前置修飾と言う)。

現在分詞・過去分詞も名詞を修飾する

上の①～③がこれまでに学んだ名詞を修飾する語句だが、名詞を修飾する語句は、まだほかにもある。まずは次の2つの文を見てみよう。

I know **the girl**. **She** is speaking English well.
(私はその少女を知っている。彼女は英語を上手に話している)

後ろの文が「be 動詞+現在分詞」の進行形になっていることに注目しておいてほしい。後ろの文の She は、前の文の the girl を受けている代名詞で、**the girl = She** だ。だから、後ろの文まで読むと、the girl は「英語を上手に話している少女」とわかる。

この「英語を上手に話している少女」という日本語を、英語で表してみると、次のようになる。

ここに注意!

ここで**語**というのは1つの単語のことだ。**句**は2つ以上の語が集まって意味のかたまりとなっているものだ。2つ以上の語の集まりでも、「主語+動詞」の文の形をふくむものを**節**と言う。(⇒ p.113)

語 ← **単語**

句 ← **単語 単語 単語 …**

節 ← **単語 単語 単語 …
S + V**

よく「**語句**」という言い方をしますが、これは語を指すとき、句を指すとき、語と句の両方を指すときがある。使うのに便利な言葉だ。



得点アップのコツ

名詞にくっつくものをよく理解しておくことが大切だ。**英語は名詞を修飾する言葉を中心に表現をふくらませていく**ので、英文が長くなり表現が豊かになるにつれて、名詞を修飾する語句や節が大活躍する。

英語を上手に話している少女

the girl speaking English well

これは、後ろの文の現在分詞 speaking ~を、名詞 the girlにくっつけたものだ。そこで2つの文は、次のように1つの文にまとめることができる。

必修文例

I know the girl speaking English well.

(私は英語を上手に話している少女を知っている)

このように、**現在分詞**は名詞にくっついて、「~している」と進行形と同じような意味で名詞を修飾する。また、受け身の文に使った**過去分詞**も、「~された」と受け身の意味で名詞を修飾するが、これらについては次ページでくわしく学ぶことにしよう。



名詞を修飾する節

名詞にくっつくのは語句だけではない。文もくっつくのだ。文を名詞にくっつける役目をするのが**関係代名詞**だ。そのメンバーは **who, which, that** の3つだ。おなじみの顔ぶれだが、これまで学んだ who, which, that の意味・用法ではなく、関係代名詞として次のような働きをしてくれる。

- 1. **文と文をつなぐ** [関係づける]
- 2. **代名詞** (he, she, it, they など) **のかわりをする**

つまり、文と文を関係づける代名詞が関係代名詞だ。

この関係代名詞を使うと、前と後ろの文をつなぎ、前の文の名詞を後ろの文で修飾することができる。

必修文例

I know the girl. She is speaking English well.

I know the girl who is speaking English well.

(私は英語を上手に話している少女を知っている)

関係代名詞 who は、後ろの文の代名詞 **she** のかわりをして文をつないでいる。そして、who 以下はもとの後ろの文そのままだから、「主語+動詞」をふくんだ語の集まり、つまり節になって、前の**名詞** **the girl** を修飾している。

だから節(もとの文)も、名詞を修飾できるのだ。名詞を修飾する節をつくるのが、p.138以降で学ぶ**関係代名詞**だ。

Q&A

Q 文と文をつなぐのは接続詞だと学びましたが、関係代名詞も、文と文をつなぐのだから接続詞ですか。

A 関係代名詞は、文と文をつなぐから接続詞と同じような役目をします。でも、and, or や when, if のような接続詞と違って、**代名詞の役目もします**。この点が接続詞と決定的にちがいます。



もっとくわしく

関係代名詞は、**名詞を修飾する節**、つまり**形容詞節**をつくる。これまで学んだ**副詞節・名詞節**にどんなものがあったか、まとめてみよう。

- ① **副詞節**…接続詞 when, if などではまる節
when + S + V ~
- ② **名詞節**…接続詞 that で始まる節
that + S + V ~
- ③ **形容詞節**…関係代名詞で始まる節
who(S) + V ~
which(O) + S + V ~

26 分詞の形容詞的用法



問題にチャレンジ

1 a run dog / the close door
走っている犬 閉められたドア

2 The teacher teach us English is Mr. Okada.
私たちに英語を教えている先生は岡田先生です。

3 Kaori looked at the paint wall.
香織はペンキをぬられたかべを見た。

4 The language in Taiwan is Chinese.
台湾で話される言葉は中国語です。

問 日本語の意味を表すように下線部の語を分詞になおせ。 → 1

問 日本語の意味を表すように下線部の語を分詞になおせ。 → 2

問 日本語の意味を表すように下線部の語を分詞になおせ。 → 3

問 日本文の意味を表すように speak を分詞にして入れよ。 → 3

1 「分詞」は現在分詞と過去分詞

「分詞」なんてあまり聞きなれない人も多いだろうが、受け身に使った過去分詞なら知っているはずだ。また、進行形で使った動詞の ing 形は、じつは現在分詞という分詞だ。この現在分詞と過去分詞の2つをまとめて分詞と呼ぶ。

分詞 → { 現在分詞(動詞の原形 + ing)
過去分詞(動詞の原形 + ed, 不規則動詞もある)

分詞(現在分詞・過去分詞)は、形容詞と同じように、**名詞を修飾**することができる。これを**分詞の形容詞的用法**と言う。現在分詞は「**～している**」という意味を表し、過去分詞は「**～された**」と受け身の意味を表す。

write(書く) → { 現在分詞は **writing**(書いている)
過去分詞は **written**(書かれた)

ここで注意してほしいのは、現在分詞も過去分詞も、**動詞としての力も持っている**ことだ。だから、目的語や修飾語などをひきつけて、意味のかたまり(形容詞句)をつることができる。

{ 現在分詞 **writing** a letter (手紙を書いている)
目的語
過去分詞 **written** by her (彼女によって書かれた)
修飾語

1の答 → a **running** dog / the **closed** door
└「～している」 └「～された」

得点アップのコツ

動詞の形の変化は p.64 でまとめたが、ここではその使われ方をまとめておこう。

- ① **原形(現在形)**…現在の動作や状態を表すのに使う。原形は will, can, do などの助動詞といっしょに使われたり、不定詞(to～)になったりする。
- ② **過去形**…過去の動作や状態を表すのに使う。
- ③ **過去分詞**…受け身の文、現在完了に使われるほか、ここで学ぶ形容詞的用法でも使われる。
- ④ **現在分詞**…進行形で使われるほか、ここで学ぶ形容詞的用法でも使われる。



2 現在分詞の形容詞的用法

現在分詞[動詞のing形]は、名詞を修飾して「～している」の^{名詞}意味を表す。これを現在分詞の形容詞的用法と言う。

singing girls 歌っている 少女たち
現在分詞 名詞 (～している)

このように、**現在分詞がそれ1語だけなら、前から名詞を修飾する**。これはan old manなどのふつうの形容詞と同じ使い方だ。

ところが、現在分詞が目的語や修飾語などをひきつけている場合、つまり語句を伴う現在分詞は、後ろから名詞を修飾する(後置修飾)。これは、a letter for you (あなたへの手紙) や a picture to show you (あなたに見せたい写真) などの形容詞句と同じ使い方だ。

girls singing a song 歌を歌っている 少女たち

2の答→ The teacher **teaching** us English is Mr. Okada. → teachを現在分詞にして、teaching us English(私たちに英語を教えている)が、名詞teacherを後ろから修飾するようにする。

3 過去分詞の形容詞的用法

過去分詞は「～された」と受け身の意味で名詞を修飾する。これを過去分詞の形容詞的用法と言う。形容詞的用法の過去分詞は、**それ1語だけなら前から、語句を伴って2語以上なら後ろから名詞を修飾する**(後置修飾)。現在分詞と同じ使い方だ。

もうよくわかったと思うので、文の中で使ってみよう。

必修文例

The **broken** vase was under the table.

(こわれた花瓶はテーブルの下にあった)

This is a letter **written** by her.

(これは彼女によって書かれた手紙です)

ポイント

分詞の形容詞的用法 { ^{名詞}現在分詞→「～している」
^{名詞}過去分詞→「～された」

⇒分詞1語だけなら前から、2語以上なら後ろから名詞を修飾

3の答→ Kaori looked at the **painted** wall. → paintedは1語だけの分詞である。

4の答→ The language **spoken** in Taiwan is Chinese. → spoken in Taiwan(台湾で話されている)が、名詞languageを後ろから修飾するようにする。

得点アップのコツ

現在分詞も動名詞も、動詞の原形にingをつけた形だ。形では現在分詞と動名詞を区別できない。だから、文の中での使われ方、訳し方によって区別するしかない。文の中で動詞のing形があれば、「～すること」と訳して意味が通るなら**動名詞**、「～している」と訳して意味が通るなら**現在分詞**だ。もちろん、「be動詞+ing」の形のときは進行形で現在分詞だ。

語句を名詞の後ろに置いてその名詞を修飾することを**後置修飾**と言う。



基礎を固める問題



解答 → 別冊 p.27

① 日本語の意味を表すように、次の文の()内から正しい語を選びなさい。

- (1) A dog (sleeping, slept) on the sofa is Tom's.
ソファの上で眠っている犬はトムのです。
- (2) The girl (writing, wrote) a letter is Jane.
手紙を書いている少女はジェーンです。
- (3) He has a car (making, made) in Italy.
彼はイタリア製の車を持っています。
- (4) Look at the people (waiting, waited) for buses.
バスを待っている人々をごらんください。
- (5) Here is a book (writing, written) in Ainu.
ここにアイヌ語で書かれた本があります。

② 次の文の正しい位置に()内の語を入れて全文を書きなさい。

- (1) Do you know the cat? (sleeping)

- (2) Do you know the dog over there? (running)

- (3) The door did not open. (closed)

- (4) English by him was too fast to understand. (spoken)

③ 各組の文を、意味のちがいに注意して日本語になおしなさい。

- (1) { a) The girl is running over there.
()
b) The girl running over there is Noriko.
()
- (2) { a) This sign was used in Cambodia.
()
b) This is the sign used in Cambodia.
()

HELP

- ① 現在分詞(-ing)は「～している…」の意味を、過去分詞(-ed など)は「～される[た]…」(受け身)の意味を表す。
- (5) Ainu 「アイヌ(語), アイヌ(人[語])の」

単語

Italy [itoli イタリア]
イタリア

- ② 分詞は 1 語だけなら前から(1)3, 2 語以上なら後ろから(2)4, 名詞を修飾する。

1 語だけ
the sleeping dog

2 語以上
the dog running

over there

- ③ (1) a) は現在進行形の文。
(2) a) は受け身の文。
sign [sain サイン] 「標識, 表示」
Cambodia [kæmbóudia カンボディア] 「カンボジア」

力をのばす問題



解答 → 別冊 p.27

1 ()内の語を適当な形にして文中の正しい位置に入れ、全文を書きかえなさい。

(1) He had a watch. (break)

(2) Can you see the bird? (fly)

(3) The girl by the window is my sister. (stand)

(4) This is a fish in the lake. (catch)

2 次の文を日本語になおしなさい。

(1) Barking dogs don't always bite.

(_____)

(2) What's the most important language used in the world?

(_____)

(3) Do you know the girl running in the gym?

(_____)

(4) A spoken language is more difficult than a written language.

(_____)

3 日本文の意味を表すように、英文の _____ に適当な1語を入れなさい。

(1) ベンチにすわっている人は私のおじです。

The _____ on the bench is my uncle.

(2) 彼はアメリカ製のギターを買った。

He bought a guitar _____ America.

(3) ピアノを弾いている女の子はだれですか。

Who is the girl _____ ?

(4) 雪でおおわれている家はとても美しかった。

The house _____ was very beautiful.

HELP **1** 分詞が修飾する名詞をさがす。「～している」なら**現在分詞**。「～される[た]」なら**過去分詞**を使う。



2 (1) bark 「(犬などが)ほえる」、bite [bait バイト] 「かむ」 (3) gym [dʒim チム] 「体育館」

(4) a spoken language 「話された言葉」→「話し言葉」と意識する。a written language 「書かれた言葉」→「書き言葉」

3 (4) 受け身の be covered with ～(～でおおわれている)から考える。

27 関係代名詞(主格)



問題にチャレンジ

- I know **a girl**. **She** can ski very well.
私は少女を知っている。彼女はとても上手にスキーができる。
- The man** is my uncle. **He** wrote this letter.
その人は私のおじです。彼はこの手紙を書きました。
- This is the train (who, which) goes to Osaka.
これは大阪へ行く列車です。
- Look at the boy and the dog _____ are running.
走っている少年と犬をごらんください。

問 who を使って1つの文にせよ。

→ 1

問 who を使って1つの文にせよ。

→ 2

問 () 内から正しいほうの語を選べ。

→ 3

問 _____ に適当な関係代名詞を入れよ。

→ 3

1 関係代名詞 who — 先行詞は「人」

関係代名詞は、文と文をつなぎ[関係づけ]、代名詞のかわりをする。この関係代名詞の働きを、次の文で調べてみよう。

必修文例

a friend = He (He は前の a friend を指す)

I have **a friend**. **He** is American.

I have **a friend** **who is American**.

(私にはアメリカ人である友人がいます)



関係代名詞 **who** は、上の後ろの文の代名詞 **He** のかわりをする。そして、代名詞 **He** が指していた前の名詞 **a friend** にくっついて、文をつないでしまうのだ。そこで、次のことを覚えよう。

- 関係代名詞 **who** がくっついた名詞 **a friend** を先行詞と言う。つまり、**先行詞は関係代名詞が指す語**のことだ。a friend のように先行詞が「人」のとき、関係代名詞は **who** を使う。
- 関係代名詞 **who** は、文の主語になっていた **He**(主格)のかわりをするので、**who** は主格の関係代名詞だ。
- 関係代名詞で始まる節は、先行詞を修飾する。日本語に訳すとき、**関係代名詞で始まる節** → 先行詞の順に訳す。

1の答 → I know **a girl** **who** can ski very well. (私はとても上手にスキーができる少女を知っている) → She は a girl を指すので、a girl を先行詞とし、she を who にかえる。

Q&A

Q 関係代名詞は訳さなくていいのですか。

A はい、そうです。**先行詞** = 関係代名詞が指す語ですから、先行詞と関係代名詞の両方を訳すと、同じことを2度訳すことになります。

2 関係代名詞の位置—つけたし型、わりこみ型

関係代名詞をふくむ文は、どの語が先行詞になるかによって、次の2つのタイプに分けられる。

- ① **つけたし型**…文の目的語(O)や補語(C)などが先行詞の場合は、先行詞のあとに関係代名詞で始まる節をつけるだけ。

Do you know **the boys** **who** are playing tennis?

S V O(先行詞) 関係代名詞で始まる節(Oを修飾)

(あなたはテニスをしている少年たちを知っていますか)

- ② **わりこみ型**…文の主語(S)が先行詞の場合は、先行詞のあとに関係代名詞で始まる節をわりこませる。

The boy **who** is reading a book is Mike.

S(先行詞) 関係代名詞で始まる節(Sを修飾) V C

(本を読んでいる少年はマイクです)



2の答 → **The man who** wrote this letter is my uncle. (この手紙を書いた人は私のおじです) → HeはThe manを指すので、The manを先行詞とし、Heをwhoにかえて後ろの文を先行詞のあとにわりこませる。

3 関係代名詞 which — 先行詞は「物」、that — 「人」と「物」

関係代名詞の which, that は、who のように文と文をつなぎ、主格の代名詞のかわりをする。「つけたし型」や「わりこみ型」もある。

ただし、**which**は先行詞が「物」(人以外の生物も)のときに使い、**that**は先行詞が「人」と「物」のどちらのときにも使える。

必修文例

Do you know **a store** **which** sells notebooks?
先行詞 関係代名詞で始まる節
 (あなたはノート売っている店を知っていますか)——つけたし型

The picture **that** was painted by Kate is beautiful.
先行詞 関係代名詞で始まる節
 (ケイトによって描かれた絵は美しい)——わりこみ型

ポイント

先行詞が「人」 → **who**(または **that**)
 先行詞が「物」 → **which**(または **that**)

主格の代名詞のかわりをする

3の答 → **which** → 先行詞 the train(列車)は「物」である。

4の答 → **that** → the boy and the dogが先行詞で、「人」+「物」だから、「人」にも「物」にも使える **that** が正解。



whoは「人」の先行詞が大好きで、「物」の先行詞はきらいだ。**which**はその反対だ。

thatは「人」の先行詞も「物」の先行詞も好きだが、「人」の大好きな **who** に遠慮して、「人」の先行詞にはあまりくっつかない。だから、「人」の先行詞には **that** よりも **who** を使うほうがテストなどでも安全だ。でも、**that** は形容詞の最上級や **all, every, any, no, the only** などのついている先行詞が大好きで、テストでこんな先行詞が出たら、まよわず **that** を使おう。

また、先行詞が「人」+「物」の両方なら、必ず **that** を使うこと。両方とも好きなのは **that** だけだからだ。

基礎を固める問題



解答 → 別冊 p.28

① 日本文の意味を表すように、次の文の()内から正しいものを選びなさい。

- (1) He has a dog (who, which) runs very fast.
彼はとても速く走る犬を飼っています。
- (2) The boys (who, which) are standing there are Tom and Fred.
そこに立っている少年はトムとフレッドです。
- (3) I saw many birds (who, which) (was, were) flying in the sky.
私は空を飛んでいる多くの鳥を見ました。
- (4) Do you know the man (who, which) (writes, wrote) the novel?
あなたはその小説を書いた人を知っていますか。

② 次の文の____に **who** または **which** を入れなさい。また、全文を日本語になおしなさい。

- (1) These are cars _____ were made in America.
()
- (2) He didn't know the man _____ was talking with me.
()
- (3) The girl _____ cleans this room is Nancy.
()
- (4) The cat _____ has gray eyes is mine.
()

③ 次の文を **who** または **which** を使って、1つの文に書きかえなさい。

- (1) I know that man. He is dumping garbage.

- (2) Do you know the train? It can run the fastest.

- (3) This is the cat. It is loved by her.

- (4) The woman is Mrs. Lee. She is sitting on the chair.

- (5) The building is our school. It stands over there.

HELP

①

先行詞	人 → who
	物 → which

(3) 先行詞 (many birds) を主語と考えて関係代名詞のあとの動詞の形を決める。

(4) 「小説を書いた」は過去のこと。

② (1)(2)は「つけたし型」の文。① まず主語を訳し、② 次に関係代名詞で始まる節を訳す。

S + V ~ 関係代名詞…

① ③ ②

(3)(4)は「わりこみ型」の文なので、① 関係代名詞で始まる節 → ② 主語の順で訳す。

S 関係代名詞… + V ~

② ① ③

③ 次の順に考えよう。

① 前の文の名詞を指す代名詞を後ろの文からさがす。

(1) that man = He

② 後ろの文の代名詞を関係代名詞にかえる。

(1) He → who

③ 関係代名詞以下を前の文の名詞(先行詞)につける。

(2)~(5)は the のついた名詞のほうを先行詞とする。

単語

dump [dʌmp] (ごみなどをあける)

garbage [gɑːrbiʒ] (ガーベジ) ごみ

力をのばす問題



解答 → 別冊 p.28

1 次の文を日本語になおしなさい。

- (1) The lady who is sitting under that tree is Mrs. Yamada.
()
- (2) The package which was sent from Hokkaido has not arrived yet.
()
- (3) I want a book that tells about the universe.
()

2 次の文を、関係代名詞を使ってほぼ同じ意味を表す文に書きかえなさい。

- (1) { The girl crying over there is my sister.
The girl _____ crying over there is my sister.
- (2) { He has some books written by Soseki Natsume.
He has some books _____ written by Soseki Natsume.
- (3) { There are many parks with beautiful trees.
There are many parks _____ beautiful trees.
- (4) { Naoki is not a boy to tell a lie.
Naoki is not a boy _____ a lie.

3 日本文の意味を表すように、()内の語を並べかえなさい。

- (1) 彼がきのうあなたのかぎを見つけてくれた少年です。
He is (the, found, boy, key, who, your) yesterday.
He is _____ yesterday.
- (2) 2つドアのある部屋が私のものです。
(has, is, which, two, the, mine, doors, room).

- (3) 彼はその試験に合格したただ1人の生徒です。
(only, exam, passed, he, that, is, the, student, the).

HELP



- 1** (2) package 「荷物」, yet 「(否定文で)まだ」 (3) universe [jú:nəvə:rs ユーニヴァース] 「宇宙」
- 2** (1)(2) 名詞の後ろに置かれた形容詞的用法の分詞は、「関係代名詞+動詞～」の形に書きかえられる。(3)は先行詞が人以外、(4)は先行詞が人になることに注意。(4) tell a lie 「うそをつく」
- 3** (2) 「2つドアのある」 has two doors

28 関係代名詞 (目的格)



問題にチャレンジ

1 I like **the song**. Yoko is singing **it**.

私はその歌が好きだ。陽子はそれをうたっている。

2 (tall, Ken, then, woman, met, was, the, that).

健がそのとき会った女性は背が高かった。

3 (know, pictures, can, the, well, boy, paint, I).

私知っている少年は上手に絵をかくことができます。

4 The letter _____ is very long.

彼が書いたその手紙はとても長い。

問 which を使って1つの文にせよ。 → 1

問 各語を並べかえて、日本文の意味を表す英文にせよ。 → 2

問 各語を並べかえて、日本文の意味を表す英文にせよ。 → 3

問 _____ に適当な1語を入れよ。

→ 3

1 関係代名詞 which — 目的格

次の2つの文では、後ろの文の it は前の文の a bike を指すので、a bike = it だ。it は後ろの文の目的語で、目的格の代名詞だ。

a bike = it (目的格)

This is **a bike**. I ride **it** every day.

(これは自転車です。私はそれに毎日乗ります)

上の2つの文をつなぐには、**先行詞**が「物」(a bike)で、その代名詞が**目的格**(it)だから、関係代名詞も **which** の**目的格**を使う。といっても、関係代名詞 **which** は目的格になっても形はかわらず、which のままだ。

そこで、代名詞 it を関係代名詞 which にかえると、I ride which every day となるが、**関係代名詞は先行詞のあとにつけなければならない**から、which を先頭に移動して、which I ride every day としてから2つの文をつなぐ。

This is **a bike** **which** I ride every day. —つけたし型

S V C (先行詞) 関係代名詞で始まる節

(これは私が毎日乗る自転車です)

上の文は「つけたし型」だが、「わりこみ型」でも同じだ。

The computer **which** I'm using now is new.

S (先行詞) 関係代名詞で始まる節 V C

(私が今使っているコンピューターは新しい) —わりこみ型

1の答 → I like **the song** **which** Yoko is singing. (私は陽子がうたっているその歌が好きだ) → the song = it で、it は目的語だから which を it にかわる目的格の関係代名詞として使い、the song のあとにつけた。

ここに注意

which など目的格の関係代名詞を使った文をつくる時、うっかりして

~ which I ride ~~it~~.

のように目的語を残したままにしないように気をつけよう。it は which になったのだから、

~ **which I ride.**

が正しい。



得点アップのコツ

関係代名詞は、

① 先行詞が「人」か「物」か。

② 「格」は何か。
↳ 主格・目的格

この2点から決まる。

2 関係代名詞 that は目的格にもなる

which と同じように、**that** もそのままの形で**目的格**として使うことができる。

This is **a CD**. I bought **it** yesterday.

(これは CD です。私はきのうそれを買いました)

この2つの文では a CD = it で、a CD という「物」が先行詞となり、it は後ろの文の目的語なので、そのかわりをする関係代名詞も目的格の which または that にする。

This is **a CD** **which** [that] I bought yesterday.

S V C (先行詞) 関係代名詞で始まる節 —つけたし型

(これは私がきのう買った CD です)

The CD **which** [that] you gave me was very nice.

S (先行詞) 関係代名詞で始まる節 V C —わりこみ型

(あなたが私にくれた CD はすごくよかった)

先行詞が「人」の場合、目的格の関係代名詞に whom を使うことがあるが、まれで、口語では that または who を使う。省略することも多い。

2の答→ The woman that Ken met then was tall. → 「健がそのとき会った」は「女性」を修飾する節であると見抜く。関係代名詞 that を使って that Ken met then という節をつくり、これを the woman のあとにわりこませる。

ここに注意

関係代名詞の that は先行詞が「人」と「物」のどちらの場合でも使えるので便利だ。しかし、「便利でカンタンだから」というので that ばかり使っていると、おそろしい“that 病”にかかってしまう。なるべく that を使わずに、すすんで who, which などの練習を積んで実力をつけよう。

もっとくわしく

最上級のあとでは which や who を使わず、**that** を使うのが原則だ。

This is the biggest ship **that** I have ever seen.

(これは私がこれまで見た中で最も大きい船です)

3 関係代名詞の省略

目的格の関係代名詞は**省略することができる**。だから関係代名詞を省略して、次のような文をつくることもできる。

This is **a boy** I know well.

↳ that [who] を省略

(こちらは私がよく知っている少年です)

This is **a book** I bought yesterday.

↳ which [that] を省略

(これは私がきのう買った本です)

必修文例

ポイント

目的格の関係代名詞 { 先行詞が物 → **which, that**
先行詞が人 → **that, または who**

※目的格の関係代名詞は**省略できる**

3の答→ The boy I know can paint pictures well. → boy と I の間に関係代名詞の that [who] が省略されている。

4の答→ he, wrote → 関係代名詞を省略し、「彼が書いた」が「手紙」を修飾するようにする。

得点アップのコツ

関係代名詞(目的格)を省略しても、省略しないときと同じように、次のように訳す。

「名詞 + S + V」
(S が V する……)

a doll she made
名詞 S + V

(彼女がつくった人形)

the girl I like
名詞 S + V

(私が好きな少女)

基礎を固める問題



解答 → 別冊 p.28

① 次の文を **that** を使って、1つの文に書きかえなさい。

- (1) This is a girl. I helped her yesterday.

- (2) These are pictures. I took them last year.

- (3) The students understand Japanese history well. Mr. Mori teaches them.

- (4) The book is very interesting. She wrote it.

- (5) Did you know the man? You met him there.

② 例にならって、次の文に関係代名詞 **that**, **which** のいずれかを加えなさい。ただし、**that** は **which** が使用不可のときのみ使えるものとする。

例 Let's take a walk in the park I like.
→ Let's take a walk in the park which I like.

- (1) She is a girl I often see in the museum.

- (2) This is the computer I bought.

- (3) The color he likes the best is brown.

③ 次の下線部の関係代名詞 **that** が省略できる場合は○、できない場合は×を書きなさい。

- (1) It is a pen that changed my life. ()
- (2) Is this a book that Dazai Osamu wrote? ()
- (3) These are apples that you can eat. ()
- (4) This is a ball that is used in Rugby. ()

HELP

- ① 次の順に考える。
- ① 前の文の名詞を指す代名詞を後ろの文からさがす。
(1) a girl = her
- ② 後ろの文の代名詞を関係代名詞(目的格)にかえる。
(1) her → that
- ③ 関係代名詞を後ろの文の先頭に移し、前の文の名詞(先行詞)につける。
(1)(2)(5)「つけたし型」
(3)(4)「わりこみ型」

② 省略されている関係代名詞の形と位置を答える問題。

単語

museum

[mju:zi(:)əm]

ミュージ(-)アム

博物館, 美術館

③ 関係代名詞のすぐあとに続くのが主語なのか動詞なのかを見よう。

① 動詞なら、その関係代名詞は**主格**。

→省略不可

② 主語なら、その関係代名詞は**目的格**。

→省略可

力をのばす問題



解答 → 別冊 p.28

1 次の文を日本語になおしなさい。

- (1) Is this a cake Kumi made yesterday?
()
- (2) The girl I saw in the park looked very happy.
()
- (3) Mr. Murata is a baseball player everyone knows.
()
- (4) The book you bought for me is very interesting.
()

2 各組の文がほぼ同じ意味を表すように、____に適切な1語を入れなさい。

- (1) { The picture which Ken took is beautiful.
The picture _____ is beautiful.
- (2) { He is a boy I know well.
He is a boy _____ know well.
- (3) { Is that a recycling center? We need it.
Is that a recycling center _____ need?
- (4) { This is a book which his uncle wrote.
This is a book written _____ his uncle.
- (5) { This is the best car made in Japan.
This is the best car _____ made in Japan.

3 日本文の意味を表すように、()内の語を並べかえなさい。

- (1) 彼女は私がきのう会った少女です。
(is, I, girl, she, yesterday, the, met).
-

- (2) シンゴが書いた手紙は机の上にあります。
(Shingo, is, desk, the, the, wrote, on, letter).
-

HELP



- ① 関係代名詞が省略されているので注意する。(2)(4)は「わりこみ型」なので注意しよう。
- ② (1)(2) 関係代名詞の省略を考える。(3) 2つの文をまとめる。recycling center「リサイクルセンター」(5) 過去分詞の形容詞的用法。最上級のついた先行詞には **that** を使う。
- ③ (1)「私がきのう会った」が「少女」を、(2)「シンゴが書いた」が「手紙」を修飾するように文をつくる。

29 関係代名詞のまとめ

問題にチャレンジ

1 The e-mail _____ came from Mika made Ken happy.

美香から来たEメールは健を喜ばせた。

2 Do you know the man _____ lives near her house?

あなたは彼女の家の近くに住んでいるその人を知っていますか。

3 The man _____ we met is Ken's uncle.

私たちが会った男性は健のおじさんです。

4 That is the picture _____ my father painted yesterday.

あれは私の父がきのうかいた絵です。

問 _____に適切な1語を入れよ。

→ 1

問 _____に適切な1語を入れよ。

→ 1

問 _____に適切な1語を入れよ。

→ 1

問 _____に適切な1語を入れよ。

→ 1

1 関係代名詞の使い分け

関係代名詞は先行詞によって使い分けられ、主格と目的格があることを整理しておこう。

先行詞	関係代名詞	
	主格(～は, ～が)	目的格(～を, ～に)
「人」	who	that [who]
「物」	which	which
「人」と「物」	that	that

目的格の関係代名詞は省略されることが多いよ。



得点アップのコツ

左の表から言えることは、関係代名詞そのものの形から、主格か目的格かを判断することはできないということだ。そこで、次のポイントをおさえておこう。

関係代名詞のあとが「動詞」なら主格。「助動詞＋動詞」のこともある。関係代名詞のあとが「主語＋動詞～」なら目的格。

この表からわかるように、関係代名詞を使い分けるポイントは次のようになる。

ポイント

関係代名詞の使い分け

① 先行詞は「人」? 「物」? …「人」→ **who**, 「物」→ **which**

※ **that** は先行詞が何であっても使える。

② 関係代名詞の働きは? …主語→主格, 目的語→目的格

次に、例文で使い分けのポイントを確認していこう。



- ① She is **the girl who** wants to see you.
(彼女はあなたに会いたいと思っている少女です)
- ② She is **the girl that [who]** Ken wants to see.
(彼女は健が会いたいと思っている少女です)
- ③ This is **the dog which** helps the old man.
(これはその老人を介助する犬です)
- ④ This is **the dog which** the old man has.
(これはその老人が飼っている犬です)

〈先行詞による使い分け〉

- ①と②…先行詞が the girl で「人」なので **who** を使う。 **that** も可。
②のように、先行詞が「人」の場合、目的格の関係代名詞は **that** のほうがよく使われる。
- ③と④…先行詞が the dog で「物」なので **which** を使う。 **that** も可。

〈主格と目的格の使い分け〉

- ①と③…関係代名詞のあとに動詞が来て、その関係代名詞が主語の働きをする場合は**主格**。
- ②と④…関係代名詞のあとに「主語+動詞」が来て、その関係代名詞が動詞の目的語の働きをする場合は**目的格**。

→ ①の答は___の直後が動詞 made なので主格。先行詞は「物」だから、正解は **which**。②も___の直後が動詞なので主格。先行詞は「人」だから、正解は **who**。③は___のあとが「主語+動詞」なので目的格。先行詞は「人」だから、正解は **that [who]**。④は___のあとが「主語+動詞」なので目的格で、正解は **which**。①～④とも that でも正解だ。

2 主語と動詞の見分け方

関係代名詞節や「前置詞+名詞」、形容詞的用法の分詞などは、後ろから前の名詞を修飾する。これらが修飾する名詞が主語のときは、主語と動詞の間にならぶ形になるので、文のしくみがつかみにくくなる。このような文では、修飾部分を()でくくるようにすると、主語と動詞の関係がはっきりする。

- ① *The girl (who has long hair) is* Kumi. …… 関係代名詞・主格
(長い髪の少女は久美です)
- ② *The dog (which Tom has) runs* fast. …… 関係代名詞・目的格
(トムが飼っている犬は速く走ります)
- ③ *The students (in this class) study* a lot. …… 前置詞+名詞
(このクラスの生徒たちはよく勉強します)
- ④ *The boy (talking with Bob) is* Ken. …… 形容詞的用法の現在分詞
(ボブとしゃべっている少年は健です)
- ⑤ *The chair (made by Tom) is* nice. …… 形容詞的用法の過去分詞
(トムによってつくられたいすはすてきです)

もっとくわしく

名詞を修飾する句や節のパターンを図解すると、次のようになる。

- ① 関係代名詞・主格
the boy who lived here
↑ 関係代名詞 V
- ② 関係代名詞・目的格
the man that I met yesterday
↑ 関係代名詞 S V
- ③ 前置詞+名詞(⇒ p.132)
the boy with blue eyes
↑ 前置詞
- ④ 形容詞的用法の現在分詞(⇒ p.135)
a girl sitting over there
↑ 現在分詞
- ⑤ 形容詞的用法の過去分詞(⇒ p.135)
a radio made in Japan
↑ 過去分詞

形容詞的用法の分詞は、関係代名詞を使って表せることも覚えておこう。

The boy running over there is Ken.
= The boy who is running over there is Ken.

(向こうで走っている少年は健です)

The picture taken by Ken is nice.
= The picture which was taken by Ken is nice.
= The picture which Ken took is nice.

(健がとった写真はすてきです)

基礎を固める問題



解答 → 別冊 p.29

① 次の英文____に適する語を下の□から選び、記号で答えなさい。(同じ語を2度使ってもよい。また、省略はないものとする)

- (1) It was a book _____ changed our opinion.
 (2) Maya is the famous girl _____ sings this song.
 (3) These are baskets _____ I bought in Vietnam.

ア who	イ which
-------	---------

② 次の文の____に適切な関係代名詞(**that**をのぞく)を入れて、全文を日本語になおしなさい。

- (1) She's a writer _____ is popular among young people.
 ()
 (2) Look at the white house _____ stands on the hill.
 ()
 (3) This is the girl _____ has wanted to see my sister.
 ()
 (4) English is a foreign language _____ Takeshi can speak very well.
 ()

③ 例にならって、次の文全体の動詞1語に____をひき、全文を日本語になおしなさい。

例 A man with a dog is my father.
(犬といっしょにいる男の人は私の父です)

- (1) The girl taking pictures in the garden is Takako.
 ()
 (2) The book which you read yesterday is mine.
 ()
 (3) The student who came from India lives here.
 ()
 (4) People who came later began to park their bikes.
 ()

HELP

① 先行詞に注目。先行詞は関係代名詞の直前にある。人なら **who**、物なら **which** を入れる。

単語

opinion

意見, 考え

basket

かご

Vietnam

[vi:etná:m]

ヴィーエトゥナム

ベトナム

② 主格・目的格の見分け方がコツ。

主格	stands ~
	↑
	すぐあとに動詞が来る
目的格	Takeshi ~
	↑
	すぐあとに主語が来る

(4) foreign [fɔ:(r)ɪn
フォ(ー)リン]「外国の」

③ 修飾している語と、されている語の関係をつかもう。

- (1) The girl taking ~ garden までが修飾している。
 (2) The book which ~ yesterday までが、(3) は The student who ~ India までが、(4) は People who ~ later までが修飾している。
 (4) park 動「駐車する」

力をのばす問題



解答 → 別冊 p.29

1 次の文の下線部の誤りをなおして、全文を書きなさい。

(1) They are the children which the man helped yesterday.

(2) I lost the bag who my sister gave me last year.

(3) She had a brother which could play the guitar very well.

2 各組の文が同じ意味を表すように、____に適切な1語を入れなさい。

(1) { The boy standing at the door is Mike.
 { The boy _____ standing at the door is Mike.

(2) { These are the rice balls made by my mother.
 { These are the rice balls _____ by my mother.

3 日本文の意味を表すように、()内の語を並べかえなさい。

(1) ピアノを弾いている少女は私の妹です。

(the, playing, who, is, girl, is, the, piano) my sister.

_____ my sister.

(2) 子どもが入ることのできないレストランがありました。

There was (could, enter, a, children, which, restaurant, not).

There was _____.

(3) 私が食べたりんごはとてもおいしかった。

(ate, very, was, the, good, apple, I).

(4) それは彼女が大きらいな仕事だった。

It was (all, a, she, at, didn't, that, job, like).

It was _____.

HELP



1 すぐあとに来るのは主語か動詞か、また先行詞にも注意する。

2 (1) 形容詞的用法の現在分詞は「関係代名詞+進行形」で表せる。

(2) 形容詞的用法の過去分詞は「関係代名詞+受け身」で表せる。

3 (1) The girl が先行詞。(3) 目的格の関係代名詞なので、省略されている。先行詞は The apple.

30 間接疑問文； 付加疑問文

問題にチャレンジ

- 1** Where did Mike go?
マイクはどこへ行きましたか。
- 2** What language can Ms. Ito speak?
伊藤さんはどんな言葉が話すことができますか。
- 3** They can swim, _____ ?
彼らは泳げるのですね。
- 4** The girl hasn't read the book yet.
その少女はまだその本を読んでいません。

問 I don't know で始まる間接疑問文にせよ。 → ①

問 Do you know で始まる間接疑問文にせよ。 → ①

問 _____ に適当な 1 語を入れよ。 → ②

問 付加疑問文にせよ。 → ②



1 間接疑問文—I know what she likes. など

まず疑問詞(**what, who, when, where, how** など)を使った疑問文をいくつか考えよう。

- ① What** does she like? (彼女は**何が**好きですか)
- ② Who** is the man? (その人は**だれ**ですか)
- ③ When** will he visit Paris? (**いつ**彼はパリを訪れるだろうか)

このような疑問詞のある疑問文を、I know や Do you know などにつけた文を**間接疑問文**と呼ぶ。上の What does she like? を I know につけて間接疑問文にしてみよう。

必修文例

① **What** does she like?
疑問詞で始まる疑問文

- I know **what** she likes. (私は彼女が**何を好きか**知っている)
疑問詞 + S + V

間接疑問文にすれば疑問詞のあとが does she like? という疑問文の形から、**she likes** のように **S + V** の平叙文と同じ形になることに注意しておこう。
↑ 注意する

必修文例

② **Who** is the man?

- I don't know **who** the man is.
(私はその人が**だれか**わからない)

③ **When** will he visit Paris?

- Do you know **when** he will visit Paris?
(あなたは **いつ**彼がパリを訪れる**か**知っていますか) ↑ 文全体が疑問文なので、? を忘れない

もっとくわしく

I know **who** he is.
S V O(目的語)

(私は彼がだれか知っている)
上の文では、who he is 全体が、文の目的語になっている。つまり、that 節と同じように、疑問詞 who 以下が**名詞節**になる。



Q&A

Q 間接疑問文の who などは、関係代名詞とどこで区別するのですか?

A who などの前に**名詞**があれば関係代名詞、前に**動詞**があれば疑問詞(つまり間接疑問文)と区別できます。



間接疑問文

I know + 疑問詞 + S + V.
Do you know + 疑問詞 + S + V?

1の答 → I don't know where Mike went. (私はマイクがどこへ行ったのかわからない) → Where did Mike go? を where Mike went にして I don't know のあとにつける。

2の答 → Do you know what language Ms. Ito can speak? (あなたは伊藤さんがどんな言葉が話することができるか知っていますか) → can Ms. Ito speak を Ms. Ito can speak にする。

2 付加疑問文 — isn't it? など

文のあとに isn't it? などをつけて「～ですね」、「～ではありませんね」と相手に同意を求めたり、確認したりする表現を付加疑問文と呼ぶ。

This is your book, **isn't it?** (これはあなたの本ですね)
付加疑問文

付加疑問文の形は、「動詞[助動詞] + 代名詞?」だ。

この付加疑問文の「動詞[助動詞]」と「代名詞」は、次の図のように前の文の「主語」と「動詞」によって決まってくる。



▶ Tom **doesn't** have your book, **does he?**

(トムはあなたの本を持っていないのですね)

3の答 → can't, they → They can swim. は肯定文だから、付加疑問文は否定形になるが、助動詞 can があるので、これを否定形にする。前の文の主語は代名詞だからそのまま使う。

4の答 → The girl hasn't read the book yet, **has she?** → hasn't read と現在完了の否定文だ。現在完了の has [have] は助動詞と同じに考えて、付加疑問文にそのまま使う。文の主語 The girl は代名詞 she にする。

ここに注意

who などの疑問詞は文のはじめに置かれるが、この大原則の例外が間接疑問文の疑問詞だ。

Who runs fast?

(だれが速く走りますか)のように疑問詞が主語の場合は、そのままの形で間接疑問文を作ることができる。

I know who runs fast.
S V
語順はそのまま

もっとくわしく

付加疑問文などに使われる否定の短縮形を確認しておこう。

- is not → isn't
- are not → aren't
- was not → wasn't
- were not → weren't
- do not → don't
- does not → doesn't
- did not → didn't
- have not → haven't
- has not → hasn't
- cannot → can't
- could not → couldn't
- will not → won't

付加疑問文のイントネーションに注意!

You don't want it, do you? ↘

(それがほしくないんだよね) 文尾を下げると相手に同意を求める言い方になる。

You don't want it, do you? ↗

(それがほしくないんでしょう?) 文尾を上げると相手に確認する言い方になる。

基礎を固める問題



解答 → 別冊 p.29

① 次の文を、()内の語句で始まる間接疑問文に書きかえなさい。

- (1) Who is the girl? (I know)

- (2) What book do you want? (I understand)

- (3) When will he come back? (I don't know)

- (4) What did she have in her hand? (Did you see)

② 次の文を日本語になおしなさい。

- (1) It was six o'clock when I woke up.
()
- (2) Do you know when Bill will arrive here?
()
- (3) The girl who is speaking to Emi is my sister.
()
- (4) I don't know who is playing the violin.
()

③ 次の文に付加疑問をつけ、日本語になおしなさい。

- (1) Hiroshi likes cooking, _____?
()
- (2) The book was old, _____?
()
- (3) The boys can ski, _____?
()
- (4) You haven't read it, _____?
()
- (5) The men weren't working hard, _____?
()
- (6) Kumi won't come here, _____?
()

HELP

① 間接疑問文では、疑問詞のあとは、**ふつうの文の語順にする**。

I know **what** this is.
間接疑問文と言っても、これは「疑問詞をふくむ文」という程度の意味だから、(4)のように文全体が疑問文のときだけ文末に?をつける。

Do you know **what** this is?
↑

② (1)(2) when は接続詞(～とき)のほか、疑問詞(いつ～)の用法もある。

(3)(4) who は関係代名詞のほか、疑問詞(だれが～)としても使われる。

(1) woke は wake(起きる)の過去形。

(3) speak to ～ 「～と話をする」

③ (1) Hiroshi, (2) The book, (3) The boys, (5) The men, (6) Kumi をそれぞれ**代名詞に置きかえる**と何になるか考える。

(1) cooking 「料理」

(4) は現在完了の文で、haven't read の have は**助動詞の働き**をする。

(6) won't → will not

力をのばす問題



解答 → 別冊 p.30

1 次の()内の語句を並べかえて、意味の通る正しい英文にしてください。

(1) Do you (are, where, know, from, they)?

Do you _____?

(2) Please (me, leave, will, tell, when, we) next Sunday.

Please _____ next Sunday.

(3) I don't (why, know, New York, called, is) the Big Apple.

I don't _____ the Big Apple.

2 日本文の意味を表すように、____に適切な1語を入れなさい。

(1) ナンシーは音楽が好きですね。

Nancy likes music, _____?

(2) 明日コンサートに行きましょうね。

Let's go to a concert tomorrow, _____?

(3) 私は何をすべきかわからない。

I don't know _____ I _____ do.

(4) あなたは彼がどこに住んでいるか知っていますか。

Do you know _____?

3 例にならって、次の文の誤りをなおしなさい。

例 I didn't know who was he.

was he → he was

(1) He is very good at science, is he?

_____ → _____

(2) The woman can do it at once, can't the woman?

_____ → _____

(3) Do you know what movie does she like?

_____ → _____

(4) The girl didn't know his name, is she?

_____ → _____

(5) I don't know what you bought yesterday?

_____ → _____

(6) You have visited Tokyo, don't you?

_____ → _____

HELP ① (3) 間接疑問の中は受け身であることに注意。



② (2) Let's ~には shall we? が、命令文には will you? が付加疑問となる。

③ (5) 文全体が疑問文であるかどうかに着目。

定期テスト予想問題 8

時間 20分
解答 → 別冊 p.30

得点	/ 100
----	-------

1 次の文の()内から正しい語句を選びなさい。また、全文を日本語になおしなさい。

〈15点 語句2点×3, 和訳3点×3〉

- (1) The boy (who, which) is playing the guitar over there is Fred.
()
- (2) This watch is yours, (is, isn't, does, doesn't) it?
()
- (3) I don't know where (does he lives, does he live, he lives).
()

2 日本文の意味を表すように、____に適切な1語を入れなさい。

〈9点=3点×3〉

- (1) あなたは彼女がだれか知っていますか。
Do you know _____?
- (2) 私があす会う人は私のいとこです。
The man _____ meet tomorrow is my cousin.
- (3) 公園を走っている少女と犬をごらんください。
Look at the girl and the dog _____ are _____ in the park.

3 各組の文が同じ意味を表すように、____に適切な1語を入れなさい。

〈9点=3点×3〉

- (1) { The woman standing by the door is Mrs. Ito.
The woman _____ by the door is Mrs. Ito.
- (2) { He is a boy liked by many people.
He is a boy _____ many people _____.
- (3) { They didn't know what they should do.
They didn't know what _____ .

4 次の文の下線部の語と同じ働きをしているものを、それぞれ下の下線部の語から選び、記号で答えなさい。

〈10点=5点×2〉

- (1) This is a book which I found there.
ア I will read a book which is written in English.
イ This is a book which he gave me.
ウ Do you know which book is more interesting?
- (2) This is a picture that boy painted.
ア Look at that bird.
イ I think that she is very kind.
ウ It was the only dictionary that he had.
エ Which do you like better, this or that?

5

次の文を()内の指示にしたがって書きかえなさい。

〈20点 = 4点 × 5〉

(1) This is your key. You lost it. (関係代名詞を使って1つの文に)

(2) The old woman helped you. (付加疑問文に)

(3) The girls are Kumi and Nancy. They are playing tennis.

(関係代名詞を使って1つの文に)

(4) When is your birthday? (I know で始まる間接疑問文に)

(5) The man writing a letter now is Mr. Bennet. (関係代名詞を使った文に)

6

()内の語句を使って、次の文を英語になおしなさい。

〈25点 = 5点 × 5〉

(1) 私は彼がだれなのか知りません。(know)

(2) あなたはたくさん友だちがいますね。(many friends)

(3) きょう大きなかばんを持った男の人を見ました。(saw)

(4) 私が会いたい少女はナンシーです。(see, Nancy)

(5) これが私たちを幸せにしたニュースです。(the news, made)

7

〈リスニング問題〉 39 (1)は英語の対話とその内容についての質問、(2)は英語の文章とその内容についての質問です。それぞれの質問に対する最も適切な答えを、ア～エの中から1つずつ選びなさい。

〈12点 = 6点 × 2〉

(1) ア He doesn't like the parks.

イ There is no snow in the winter.

ウ It is not very warm.

エ There are no mountains.

(2) ア Because she will be late.

イ Because she can't say her message.

ウ Because she will be at home.

エ Because she can't go to club practice.

さくいん

A

a [an].....	15
a cup of.....	14
a few.....	46
a glass of.....	14
a little.....	46
a lot of.....	46
a piece of.....	14
a sheet of.....	14
a spoonful of.....	14
about.....	107
above.....	107
across.....	107
after(接続詞).....	103
after(前置詞).....	106
ago.....	75
all.....	44
along.....	107
already.....	71,74
am.....	4,6,10
among.....	107
and.....	102
any(形容詞).....	47
any(代名詞).....	22
anything to.....	87
are.....	4,6,10
around.....	107
as + 原級 + as.....	50
as soon as.....	103
ask + [人] + to.....	123
at.....	106,107

B

Be ~.(命令文).....	54
be 動詞.....	4,6,10,12,28,31,65
be 動詞 + 過去分詞.....	97,98
be 動詞 + 動詞の ing 形(現在分詞)	5,10,31
be 動詞の活用.....	65
be 動詞の疑問文・否定文.....	6,31

be able to.....	38,39
be covered with.....	99
be filled with.....	99
be going to.....	29,35,39
be interested in.....	99
be known to.....	99
be made from.....	99
be made of.....	99
be surprised at.....	99
because.....	103
become(～になる).....	59
been.....	71
before(接続詞).....	103
before(前置詞).....	106
before(副詞).....	74
begin to.....	83
behind.....	107
below.....	107
best.....	50
better.....	50
between.....	107
both A and B.....	102
but.....	102
by.....	18,97,98,106,107
by ~の省略(受け身).....	99
「場所」を表す前置詞.....	107
物質名詞.....	14,16,46
分詞.....	134
文の要素.....	112
母音.....	7

C

call.....	119
can.....	7,38,39
can の未来形.....	39
could.....	38

D

Did ~?.....	30
-------------	----

didn't.....	30
Do [Does] ~?.....	6,7
don't [doesn't].....	6,7
Don't ~.(命令文).....	54
don't have to.....	39
during.....	106
代名詞.....	22,112
動詞(V).....	4,58,80,112
動詞の ing 形.....	5,10,81,90,92
動詞の原形	4,10,29,35,54,64,81,134
動名詞.....	80,90,135

E

ed のつけ方.....	30
either A or B.....	102
enjoy + 動名詞.....	91
enough to	127
er, est のつけ方.....	50
ever.....	67,74

F

few.....	44,46
finish + 動名詞.....	91
for.....	59,66,74,106,107
from.....	106,107
付加疑問文.....	151
不規則動詞.....	29,31,65,96
副詞.....	44,47,51,74,112
副詞句.....	74,113
副詞節.....	113,133
副詞的用法の不定詞.....	81,83,87
複数形.....	15
不定詞.....	80,82,86,91,126
不定詞の意味上の主語.....	123,127
不定詞の3用法の見分け方.....	87
不定代名詞.....	22

G

get(～になる).....	59
----------------	----

義務	38
疑問詞	18,47,122
疑問詞 + to	122
疑問代名詞 / 副詞	47
疑問文	6,11,18,30,34,38,71,99
原級	45,50
現在完了	64,66,70,74
現在完了の文で使えない副詞(句)	75
現在進行形	5,10
現在の文	6
現在分詞	5,64,81,90,132,134
現在分詞の形容詞的用法	135
語	132

H

had better	39
have [has] + 過去分詞	64,66
have [has] been	65,67
have [had] to	39
Here is [are] ~.	47
hope to	83,91
how(疑問詞)	18,150
How ~ ! (感嘆文)	55
How deep ~ ?	19
How far ~ ?	19
How long ~ ?	19,66,74
How many + 複数の名詞 ?	19
How many times ~ ?	67
How much ~ ?	19
How often ~ ?	19,67
How old ~ ?	19
How tall ~ ?	19
how to	122
比較	50
比較級	45,50
比較級 + than ~	51
比較級 + than any other ~	51
否定の命令文	54

否定文	6,11,30,34,38,71,99
補語(C)	58,112,118
補語になる動名詞	91
補語になる不定詞	83

I

I want you to ~.	123
I would like you to ~.	123
if	103
in	51,106,107
in front of	107
ing のつけ方	10,11
into	107
is	4,6,10
it(時間・天候・距離・明暗)	23
it(代名詞)	22,23
It is ~ for _ to ...	127
It is ~ to ...	126
意志未来	34
1人称	6
一般動詞	4,28
一般動詞の過去形	29,30
一般動詞の疑問文・否定文	6,30
依頼	38

J

just	71,74
just now	75
時間を表す it	23
時制の一致	115
「条件」を表す接続詞	103
助動詞	7,34,38
受動態	96,98,119

K

過去形	28,30,64,134
過去進行形	31
過去の文	28,29,30

過去分詞	64,71,96,132,134
過去分詞の形容詞的用法	135
数えられない名詞	14,46
数えられる名詞	14,46
関係代名詞	133,138,142,146
関係代名詞の省略	143
関係代名詞の使い分け	146
冠詞	15,112
間接疑問文	150
感嘆符	55
感嘆文	55
完了(現在完了)	65,70,71,74
規則動詞	30,65,96
許可	38,39
距離を表す it	23
(強い)禁止	39
句	113,132
経験(現在完了)	65,67,71,74
形式主語の It	126
継続(現在完了)	65,66,71,74
継続の意味をふくむ動詞	65
形容詞	44,46,112,132
形容詞句	113,132
形容詞節	133
形容詞的用法の過去分詞	135,147
形容詞的用法の現在分詞	135,147
形容詞的用法の不定詞	81,86,87
結果(現在完了)	65,71
固有名詞	14

L

last ~	75
laugh at	99
learn to	91
less / least	50
like to	82
little	44,46

look(～に見える).....	59
look after.....	59
look at.....	59
look for.....	59
look like + 名詞.....	59

M

make.....	118
many.....	19,44,46
may.....	39
more / most.....	50
much.....	19,44,46
must.....	38,39
must の未来形.....	39
must not.....	39
未来の文.....	29,34
無声音.....	17,30
明暗を表す it.....	23
名詞.....	14,112
名詞句.....	113
名詞節.....	113,114,133
名詞的用法の不定詞.....	81,82,87
名詞の所有格.....	22
名詞を修飾する語句.....	132
命令文.....	54
命令文 ～, and [or].....	102
目的格(関係代名詞).....	142,146
目的格(代名詞).....	22
目的格補語.....	119
目的語(O).....	58,80,82,99,112,114,118
目的語になる動名詞.....	91
目的語になる不定詞.....	91

N

name(名づける).....	118
near.....	107
need to.....	83
never.....	67,74

no ～(少しも～ない).....	47
No (other) + 名詞の単数.....	51
not ～ any.....	47
not as + 原級 + as.....	51
not A but B.....	102
not only A but (also) B.....	102
nothing to.....	87
now.....	74
2人称.....	6
人称代名詞.....	22
能動態.....	96,98
能力.....	38

O

of.....	14,51
often.....	67,74
on.....	106,107,108
once.....	67,74
one(代名詞).....	22,23
or.....	102
out of.....	107
over.....	107

P・R

plan to.....	91
「理由」を表す接続詞.....	103

S

seem.....	59
SV.....	58,112
SVC.....	58,112
SVO.....	58,112
SVO [= that 節].....	114
SVO + 不定詞.....	123
SVOC.....	58,112,118,119
SVOO.....	58,59,99,112,119
SVO + to [for].....	59
Shall I [we] ～ ?.....	39
should.....	39

since.....	66,69,74
so ～ that	103
so ～ that _ can't	127
some(形容詞).....	44,47
some(代名詞).....	22
something to.....	87
speak to.....	99
start to.....	83
stop + 動名詞.....	91
stop + 不定詞.....	91
再帰代名詞.....	22
最上級.....	45,50,143
3単現の s.....	7
3人称.....	6
3人称単数(現在).....	7
子音.....	7
指示代名詞.....	22
修飾.....	44,112,132,134
主格(関係代名詞).....	138,146
主格(代名詞).....	22
主格補語.....	119
主語(S).....	58,112
主語になる動名詞.....	91,126
主語になる不定詞.....	83,126
所有格(代名詞).....	22
所有格(名詞).....	22
所有代名詞.....	22
進行形にしない動詞.....	10
進行形の否定文・疑問文・ 答えの文.....	11
真主語.....	126
推定.....	39
推量.....	38,39
数・量の表し方.....	14
節.....	113,132
接続詞.....	102
先行詞.....	138,142,146

T

take care of.....	99
-------------------	----

tell + [人] + to 123,124
 that(関係代名詞)
 133,139,143,146
 that(形容詞) 44
 that(接続詞) 114
 that(代名詞) 22
 that 節 114
 the 15
 the + 最上級 + in [of] 51
 than 51
 There is [are] ~ 47
 these(代名詞) 22
 those(代名詞) 22
 -thing + 形容詞 44
 this(形容詞) 44
 this(代名詞) 22
 though(接続詞) 103
 through 107
 till 106
 ~ times 67,74
 ~ times as ... as 51
 to 59,107
 to + 動詞の原形 81,82
 too ~ to 127
 try to 83
 twice 51,67,74
 短縮形 6,70,151

単純未来 34
 抽象名詞 14
 天候を表す it 23
 「時」を表す接続詞 102
 「時」を表す前置詞 106

U・W

under 107
 until 106
 受け身 96,98,119
 受け身の疑問文・否定文 99
 want to 83,91
 want + [人] + to 123
 was [were] 28,31
 was [were] + 動詞の ing 形 31
 what(疑問詞) 18,19,150
 what(形容詞) 44
 What ~ ! (感嘆文) 55
 What time ~ ? 23
 what to 122
 when(疑問詞) 18,75,150
 when(接続詞) 102
 when to 122
 where 18,150
 where to 122
 which(関係代名詞)
 133,139,142,146

which(疑問詞) 19
 Which ~ + 比較級, A or B?
 51
 while 103
 who(関係代名詞) 133,138,146
 who(疑問詞) 18,150
 whose 19
 why 19,83,103
 will 29,34,39
 Will ~ ? 34,35
 will not 34,35
 will + 動詞の原形 29,34
 Will you ~ ? 39
 wish to 91
 with 107
 without 107
 won't 34,35
 worse / worst 50
 would like to 83

Y・Z

yesterday 75
 yet 71,74
 有声音 30
 前置詞 106
 前置詞 + 名詞 107,132,147

■編集協力 — 吉良昭彦

■イラスト・図表作成 — よしのぶもとこ

シグマベスト

これでわかる 英文法 中学1～3年

本書の内容を無断で複写(コピー)・複製・転載することは、著者および出版社の権利の侵害となり、著作権法違反となりますので、転載等を希望される場合は前もって小社あて許諾を求めてください。

©BUN-EIDO 2012

Printed in Japan

編著者 文英堂編集部

発行者 益井英郎

印刷所 株式会社 天理時報社

発行所 株式会社 文英堂

〒601-8121 京都市南区上鳥羽大物町28

〒162-0832 東京都新宿区岩戸町17

(代表)03-3269-4231

●落丁・乱丁はおとりかえします。